

地域医療支援病院 登録医のご紹介



社会医療法人社団 正峰会 生野医院
 生野 哲雄先生
 TEL: 0795-23-3122
 住所: 西脇市野村町1257-1
 診療科目: 内科, 糖尿病内科, 消化器内科
 循環器内科, 呼吸器内科



| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----------------|---|---|---|---|---|---|
| 午前 9:00 ~ 12:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 午後 4:00 ~ 6:00 | ● | ● | ● | | ● | |

① 開業されてどれくらいになりますか。

S62年9月野村町大日の上で生野医院を開業。H8年3月医療法人社団 生野医院発足。H28年8月 社会医療法人社団 正峰会 生野医院となりました。今年で開院以来30年が経過しました。

② 来院されるのは、どのような患者様ですか。

糖尿病患者さんを多く見えています。糖尿病とは、食事療法とは、運動療法とはを繰り返して繰り返して理解していただけるよう職員一丸となり頑張ってきました。その他、生活習慣病である高血圧、脂質異常症などの患者さんも多く見てまいりました。

③ 診療にあたり心掛けていることは何ですか。

糖尿病患者さんは糖尿病でない人と比べて、平均寿命および健康寿命が男女とも10年短いと言われています。健康寿命ができるだけ糖尿病でない人に近づけるよう食事療法、運動療法を積極的に勧めています。高齢患者さんが多くなったため、いろいろな合併症の出現も多くなっています。そのつど精密検査や高度な医療（入院治療）が必要になるため、西脇病院をはじめ大山病院などの近隣病院ともしっかり病診連携をさせていただき通院中の患者さんはもちろんご家族にも安心して通院していただけるよう努めてまいりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



はやし内科クリニック
 林 武志先生
 TEL: 0795-22-9500
 住所: 西脇市小坂町175
 診療科目: 内科, 循環器内科, 呼吸器内科
 睡眠時無呼吸症候群治療



| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------------|---|---|---|---|---|---|
| 午前 9:00 ~ 12:30 | ● | ● | ● | | ● | ● |
| 午後 3:30 ~ 6:30 | ● | ● | ● | | ● | |
| 土曜日午前 9:00 ~ 13:00 | | | | | | |

① 開業されてどれくらいになりますか。

開業して9年目

② 来院されるのは、どのような患者様ですか。

生活習慣病管理目的、風邪や腹痛などの急性疾患加療目的、循環器疾患専門治療目的、睡眠時無呼吸症候群またはその疑い、健診目的、予防接種目的、健診異常指摘され精密目的など

③ 診療にあたり心掛けていることは何ですか。

患者の立場に立った医療、日進月歩の医療に置いていかれず、診療エビデンスにのっとった医療を心がけています。

④ 地域との連携について

入院や精査が必要とされる患者さんは、当院で診療を継続せず、その疾患を精査、加療するのに最適な機能の医療機関を紹介するように心がけています。また、研究会や講演会などに積極的に参加し、病院や診療所の先生方とコミュニケーションをとり、顔の見える連携を心がけています。

西脇市立西脇病院 Nishiwaki Municipal hospital

地域医療連携室だより



HP: <http://www.nshp.jp/>

MRI検査の予約について

当院ではMRI検査を3.0T/1.5Tの2台のMRI装置（GE社製）を用いて行っています。

MRI検査を希望される場合は予約時に『紹介患者FAX予約用【MRI】』と『MRI検査前チェックシート』に必要事項をご記入いただき、FAXをお願いしています。検査を受けるためにはいくつかの制限がありますので、事前にご記入いただいた『MRI検査前チェックシート』により検査が可能なかどうかの情報を得て判断をしていますので必ずご記入をお願いします。

※予約状況によっては当日午後からの検査が可能な場合もありますので、お急ぎの場合は地域医療連携室までお問い合わせください。



地域医療連携室だより
 2017年11月発行

〒677-0043 西脇市立西脇病院
 兵庫県西脇市下戸田652番地の1
 TEL: 0795-22-0111 (代表)

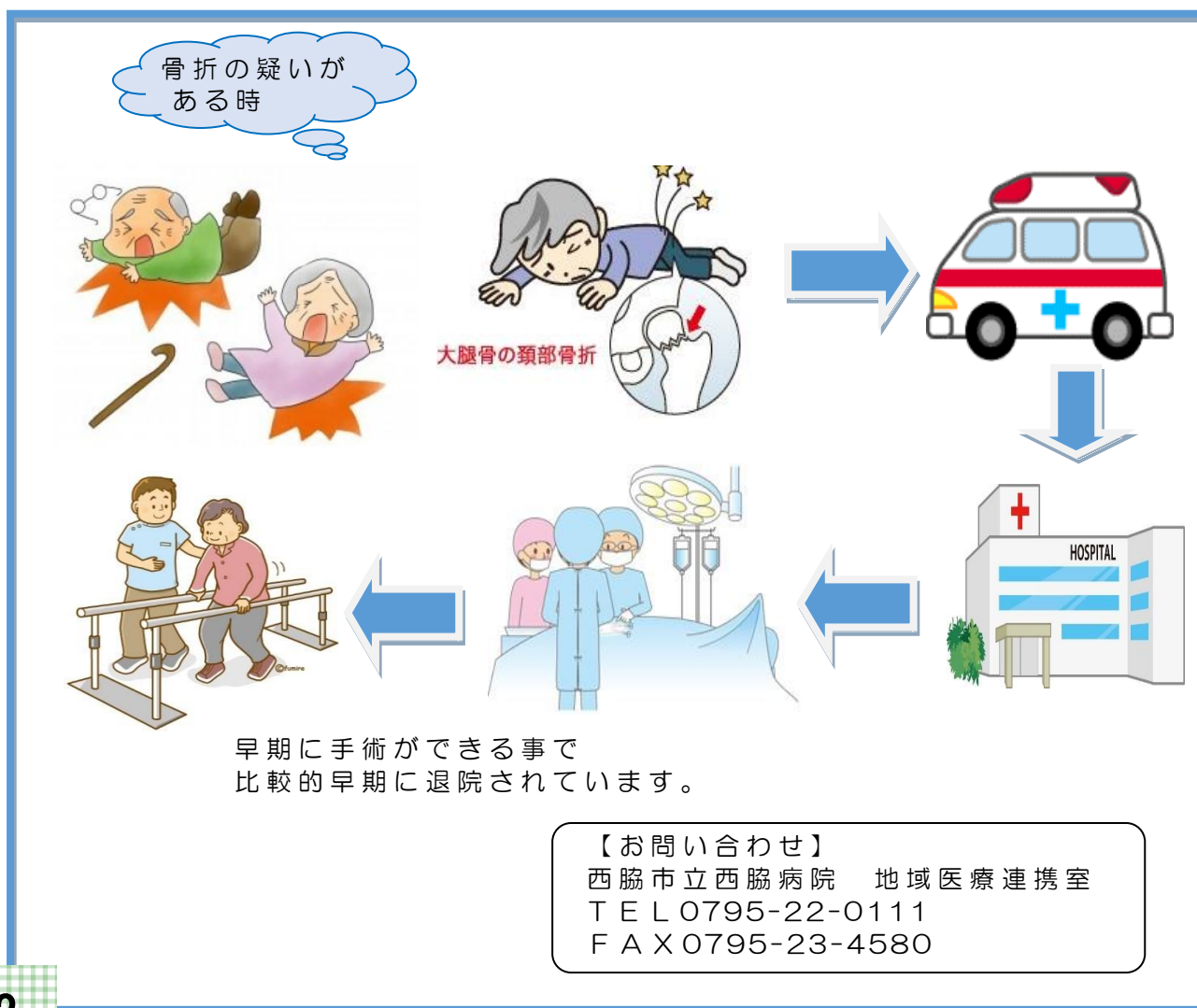
地域医療連携室 直通
 TEL: 0795-22-8270
 FAX: 0795-23-4580

整形外科部長
深澤 高広

厚生労働省では、高齢者の寝たきりの原因として『脳血管疾患』に次いで『骨折・転倒』が挙げられます。北播磨地区の2015年度の65歳以上の高齢化率は約30%、今後10年から20年は転倒に伴う大腿骨近位部骨折患者は現在の約1.5倍に増えると見込まれています。

本邦の同骨折のガイドラインでは早期手術を推奨していますが、入院後約4.5日程度の待機時間があるとされています。欧米では24～48時間以内に老年内科なども含めた集学的体制で早期手術を行い、その結果1年後の死亡率、合併症や入院期間の短縮を認めているとの報告が多数挙げられています。

当院では搬送されてきた大腿骨近位部骨折に対して麻酔科医師、内科医師、口腔外科医師、救急外来、放射線や生理・血液検査部、病棟、手術部等の協力を得て約85～90%の患者様に対しておおよそ24時間以内の早期手術を行っています。術後は栄養部なども介入し早期離床、受傷前の日常生活に戻れるようリハビリテーションに励んで頂いています。今後の大きな課題として受傷から早期に受診頂く事（病院到着までの寝たきり状態を少しでも短くする事）がより良い手術加療に於いて非常に重要となってきます。このことに関しましては近隣の先生方の御協力も必要と考えています。何卒御協力宜しくお願い申し上げます。



ストーマケア研修会

10月1日、西脇病院講堂において『介護サービス担当者のためのストーマケア研修会』（西脇病院 地域看護教育研修センター主催）を開催しました。参加者は、近隣の介護サービス担当者・看護師・ケアマネージャー等40名で、講師は、当院の皮膚・排泄ケア認定看護師が務め「ストーマケアの基礎知識」「皮膚トラブルと報告のタイミング」の講演と「ストーマ装具交換実習」が行われました。介護サービス担当者は、初めての方も多く参加され、熱心に学ばれていました。



なお、今回の研修は、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会の介護サービス担当者のストーマケア講習会のカリキュラムに該当し、研修を全て受講された介護サービス担当者の中で、希望者には受講証が発行されました。

皮膚・排泄ケア認定看護師は『平成23年7月5日に発せられた厚生労働省からの通達によりストーマ装具交換は医療行為には該当しないことから介護サービス担当者がストーマ装具の交換を行ってよいことが公的に認められました。ストーマの患者さんは、高齢になり「自分で交換ができなくなったらどうしよう」という不安があります。それだけに今後、より多くの介護サービス担当者の方々がストーマケアをできるようになるためのお手伝いしたい』と話しました。

地域看護教育研修センターは今後も地域の皆様のご要望にお答えできるような研修会を企画運営してまいりますので、ご参加をよろしくお願いいたします。



地域看護教育研修センターは、地域看護力向上事業として、地域看護実践力育成、役割支援（地域連携）、看護管理（マネジメント）の3つの研修を柱として開催しています。西脇病院のホームページにも各研修案内を掲載しておりますので、ご覧いただき多数の参加をお待ちしています。

【お問い合わせ】 西脇市立西脇病院 地域看護教育研修センター
担当 岸本 敦子
TEL：0795-22-0111
FAX：0795-23-4580